

2025年3月期 第1四半期 決算実績概況資料

2024年8月2日

株式会社西武ホールディングス(9024)

<https://www.seibuholdings.co.jp/>

1	決算サマリー、長期戦略・中期経営計画の進捗状況	P.3
2	経営成績の詳細	P.8
3	業績予想	P.21
4	補足資料	P.27

第1四半期決算サマリー

- 円安に伴うインバウンド観光客の増加や値上げの取り組み、鉄道業における定期外旅客の取り込みなどにより、営業収益は対前年同期で増収(営業収益は7.9%増の1,254億円)
[営業収益前期比:不動産事業△8億円、ホテル・レジャー事業+57億円、都市交通・沿線事業+20億円]
- 増収により、各段階利益において増益
[営業利益前期比:不動産事業△0億円、ホテル・レジャー事業+35億円、都市交通・沿線事業+9億円]
- 2024年5月公表予想に対して、営業収益および各段階利益は想定を上回り進捗

		(金額単位:億円)			
		2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	
PL	営業収益	1,162	1,254	+ 92	+ 7.9%
	営業利益	146	199	+ 53	+ 36.2%
	償却前営業利益 [※]	277	333	+ 55	+ 20.0%
	経常利益	138	195	+ 57	+ 41.7%
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	90	155	+ 64	+ 70.5%

※ 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

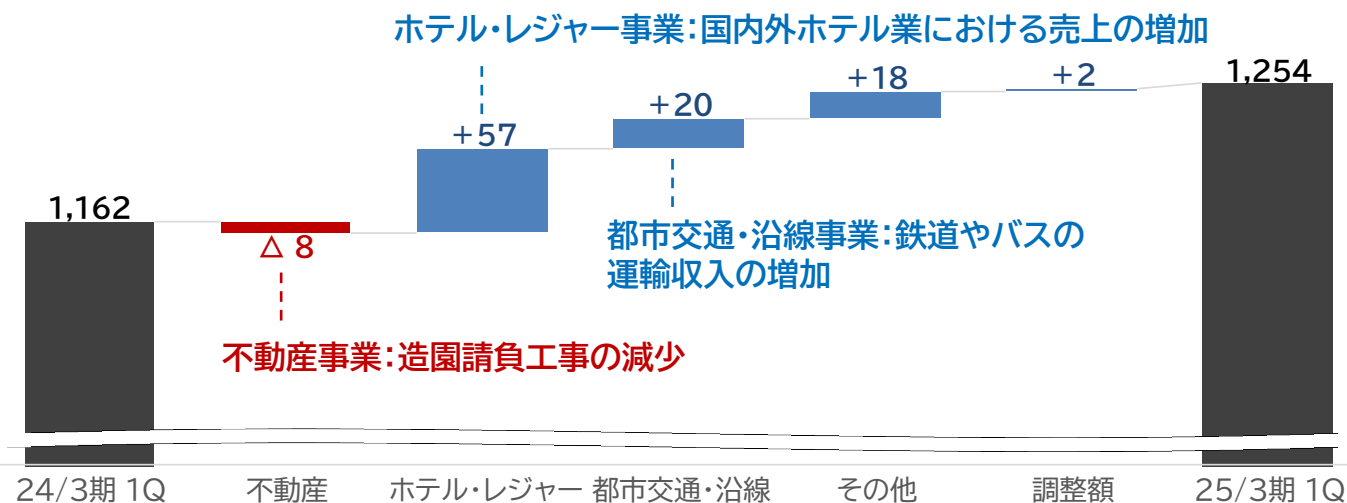
		(金額単位:億円)		
		2024/3期 期末	2025/3期 1Q末	対前期
BS	総資産	16,350	16,239	△ 110
	負債	12,028	11,835	△ 193
	純資産	4,321	4,403	+ 82
	自己資本	4,267	4,349	+ 82
	ネット有利子負債	7,306	7,341	+ 34
	自己資本比率	26.1%	26.8%	+0.7pt

第1四半期セグメント別営業収益・営業利益

■ 営業収益

(金額単位: 億円)

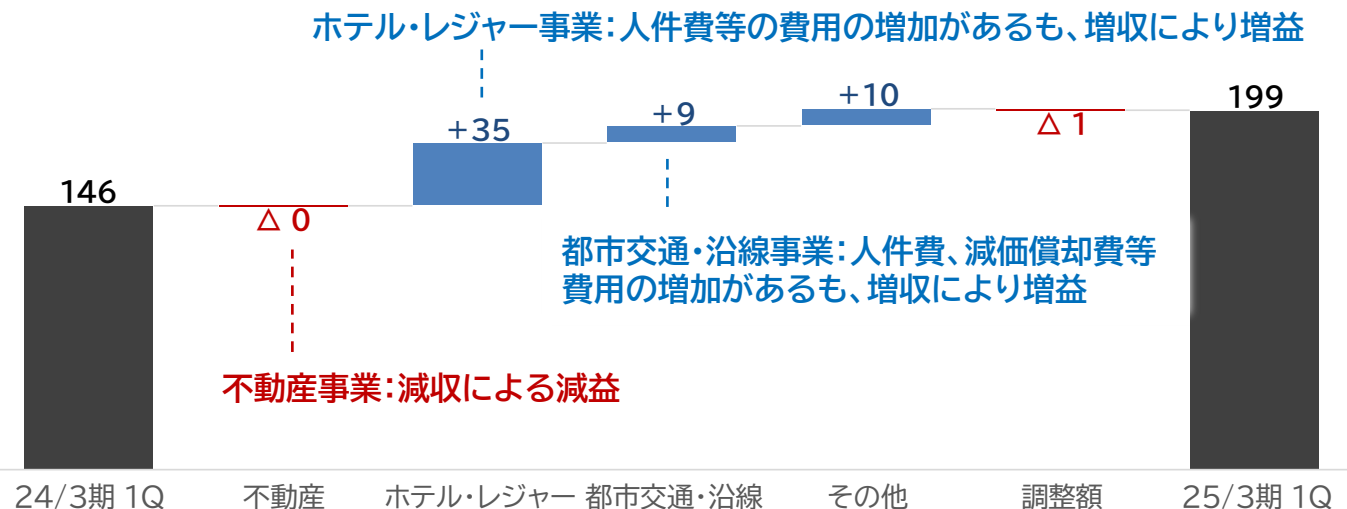
	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	
不動産事業	197	189	△ 8	△ 4.1%
ホテル・レジャー事業	527	585	+ 57	+ 11.0%
都市交通・沿線事業	363	384	+ 20	+ 5.7%
その他	137	155	+ 18	+ 13.6%
調整額	△ 63	△ 60	+ 2	—
連結数値	1,162	1,254	+ 92	+ 7.9%



■ 営業利益

(金額単位: 億円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	
不動産事業	39	38	△ 0	△ 2.3%
ホテル・レジャー事業	35	70	+ 35	+ 99.6%
都市交通・沿線事業	53	63	+ 9	+ 17.7%
その他	16	26	+ 10	+ 64.1%
調整額	2	1	△ 1	△ 47.9%
連結数値	146	199	+ 53	+ 36.2%



(注)2025/3期より報告セグメントを変更しております。(27ページ参照)
2024/3期の数値については、変更後の区分により記載しております。

長期戦略・中期経営計画の進捗状況

戦略の進捗

■ 不動産事業

- ・ 東京ガーデンテラス紀尾井町の流動化に向けて一次入札プロセス終了。二次入札プロセスを経て年内の売買契約締結を予定
- ・ 不動産回転型ビジネスの取得第1号物件としてTWG本郷を取得、バリューアッド事業を開始
- ・ 高輪エリア・芝公園エリアの再開発における都市計画手続きに向けた協議を関係機関と継続して実施
- ・ 長野県軽井沢町「千ヶ滝地区」の大規模複合開発に向けて、野村不動産株式会社と共同開発に向けた基本協定書を締結

■ ホテル・レジャー事業

- ・ 2024年4月 国内外ロイヤルティプログラムを統合し、「Seibu Prince Global Rewards」を創設
- ・ 新規開業ホテル — プリンズ スマート イン 名古屋栄 (2024年6月)
今後の開業予定ホテル — 福岡市 (プリンズホテルブランド)、The Prince Akatoki Riverside Bangkok、Park Proxi El Hayat Sharm

■ 都市交通・沿線事業(鉄道業)

- ・ 将来の収入および原価の精査、運賃改定の認可申請に向けた検討を進めている

■ 国内ホテル業

- ・ 第1四半期実績 前年同期比 RevPAR+22.1%、平均販売室料+10.3%、客室稼働率+6.8pt(実数値70.1%)
- ・ 7月速報値 前年同期比 RevPAR+17%、平均販売室料+9%、客室稼働率+5pt(実数値71%)
- ・ 8月、9月 前年同期比 RevPAR+10%程度で推移、平均販売室料+7%程度で推移 ※2024年7月23日時点

■ 鉄道業

- ・ 第1四半期実績 前年同期比 輸送人員+3.6%、旅客運輸収入+5.7%

営業指標

業績予想

夏季の需要動向が不透明であること等を踏まえ、2024年5月公表予想から変更なし

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの向上、株主価値・資本効率向上の観点から、当社とNWコーポレーション(以下「NW社」との関係(相互に株式を保有する関係)の在り方を見直し

— 2024年5月 NW社が当社に対して議決権を行使できる状態を解消

— 2024年8月 NW社株式の追加取得によりNW社を連結子会社化

(2024年9月30日を連結会計上のみなし取得日とする予定であり、本株式取得が2025年3月期の連結業績に与える影響は精査中。

なお、第2四半期において、本株式取得に起因する損益影響、自己株式の帳簿価額及び株式数の増加が生じる見込み)

→ 引き続き、当社グループ内におけるNW社の在り方の検討を進め、株主価値の向上、資本効率の向上を図る

不動産事業のパイプラインおよび進捗状況

		FY2024	FY2025	FY2026	...	FY2030	...	FY2035
流動化	東京ガーデンテラス紀尾井町 (土地面積31千㎡/帳簿価格1,434億円)		★ 2024年内の売買契約締結を予定 一次入札プロセス終了、二次入札プロセス推進中					
	ダイヤゲート池袋 (土地面積4千㎡/帳簿価格300億円)		2025年度内でのファンド(REIT含む)への流動化の具体的な検討に着手					
	西麻布レジデンス 既存ホテル エミテラス所沢 他							
成長投資	沿線開発	エミテラス所沢	★ 2024年9月24日開業、テナント全142店舗が決定					
		西武新宿・高田馬場エリア	次期中計期間中に本格着手(都市計画手続きの開始)を目指す				再開発本格着手	
	都心開発	高輪エリア		★ 高輪エリアの都市計画手続き開始				次期中計期間で高輪エリアの工事着手へ
		品川エリア	高輪エリアの再開発と呼応した機能更新を検討					
		芝公園エリア(現東京プリンスホテル)	芝公園を核としたまちづくり構想に基づく再開発					
		軽井沢エリア	不動産開発における エグゼクティブ アドバイザーを招聘	★ 「軽井沢千ヶ滝地区」の共同開発に向けて野村不動産(株)と基本協定書を締結				
	リゾート開発	富良野エリア	坂茂氏 ケンチャン氏	★ 晴山ゴルフコース リニューアルオープン(第1期/坂茂氏設計)				
		箱根エリア	 	ホテルコンドミニアム等の開発			★ PVC箱根開業 (2026年度開業目標/坂茂氏設計)	
		日光エリア	旧日光プリンスホテルの開発					
		投資運用業での 目標リターン IRR 5-10%	物件取得 M&A	★ 不動産回転型ビジネスの取得第1号物件としてTWG本郷を取得、バリューアッド事業を開始				
不動産バリューチェーンにおける機能強化		2025年4月の4社体制運用開始に向けた会社設立の手続き等を推進中		機能再編	許認可取得・ファンド設立	4社体制での事業推進	私募REIT設立	AUM 6,000億円超へ

企業価値
向上

NAV成長

1	決算サマリー、長期戦略・中期経営計画の進捗状況	P.3
2	経営成績の詳細	P.8
3	業績予想	P.21
4	補足資料	P.27

連結損益計算書サマリー

(金額単位:百万円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期	摘要
営業収益	116,212	125,412	+9,200	不動産:△8億円、ホテル・レジャー:+57億円、都市交通・沿線:+20億円、その他:+18億円、調整額:+2億円
営業費用	101,558	105,453	+3,894	
営業利益	14,653	19,959	+5,306	不動産:△0億円、ホテル・レジャー:+35億円、都市交通・沿線:+9億円、その他:+10億円、調整額:△1億円
減価償却費及びのれん償却額	13,103	13,358	+254	
償却前営業利益	27,757	33,317	+5,560	不動産:△1億円、ホテル・レジャー:+32億円、都市交通・沿線:+12億円、その他:+10億円、調整額:+0億円
営業外収益	1,480	1,958	+478	
営業外費用	2,318	2,339	+20	
経常利益	13,815	19,578	+5,763	
特別利益	97	564	+466	
特別損失	377	254	△122	
税金等調整前四半期純利益	13,535	19,888	+6,352	
法人税等	4,289	4,318	+28	法人税、住民税及び事業税 +19億円、法人税等調整額 △19億円
四半期純利益	9,246	15,570	+6,323	
非支配株主に帰属する四半期純利益	146	54	△91	
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,099	15,515	+6,415	

営業外・特別損益

(金額単位:百万円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期	摘要
営業利益	14,653	19,959	+5,306	
営業外収益	1,480	1,958	+478	
受取利息・配当金	558	631	+73	
バス路線運行維持費補助金	110	148	+37	
為替差益	496	825	+328	
その他営業外収益	315	353	+38	
営業外費用	2,318	2,339	+20	
支払利息	1,897	1,893	△4	
持分法による投資損失	65	30	△34	
その他営業外費用	355	414	+59	
経常利益	13,815	19,578	+5,763	
特別利益	97	564	+466	
固定資産売却益	2	25	+22	
工事負担金等受入額	40	39	△0	
補助金収入	55	93	+38	
受取保険金	—	385	+385	ハワイ島の山火事に関して発生した被害に係る受取保険金(マウナ ケア ゴルフ コース)
その他特別利益	—	21	+21	
特別損失	377	254	△122	
減損損失	1	—	△1	
固定資産売却損	23	13	△10	
固定資産除却損	249	36	△212	
工事負担金等圧縮額	38	37	△0	
固定資産圧縮損	50	63	+12	
投資有価証券評価損	0	—	△0	
災害による損失	—	74	+74	ハワイ島の山火事に関して発生した損失(マウナ ケア ゴルフ コース)
その他特別損失	14	30	+15	
税金等調整前四半期純利益	13,535	19,888	+6,352	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位:百万円)

	2024/3期 期末	2025/3期 1Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,635,019	1,623,953	△ 11,066	
流動資産	101,263	98,260	△ 3,002	受取手形、売掛金及び契約資産 △4,635 その他 △4,630(受託工事に係る未収金の減少など) 現金及び預金 +5,778
固定資産	1,533,756	1,525,692	△ 8,063	投資有価証券 △10,775 有形・無形固定資産 +2,282
負債 合計	1,202,885	1,183,578	△ 19,307	
流動負債	385,106	372,772	△ 12,334	支払手形及び買掛金 △7,492 未払法人税等 △2,587 その他 △33,932(工事未払金の減少など) 前受金 +14,196 短期借入金 +12,589 賞与引当金 +4,985
固定負債	817,778	810,806	△ 6,972	長期借入金 △3,687 繰延税金負債 △3,484
純資産 合計	432,133	440,374	+8,241	
自己資本	426,713	434,955	+8,241	利益剰余金 +11,749 為替換算調整勘定 +4,747 その他有価証券評価差額金 △7,375
非支配株主持分	5,235	5,234	△ 0	
有利子負債 期末残高	763,692	772,905	+9,212	
ネット有利子負債	730,696	734,131	+3,434	
自己資本比率	26.1%	26.8%	+0.7pt	
D/Eレシオ(倍)	1.8	1.8	△ 0.0	

不動産事業 概況

(注)2025/3期より報告セグメントの内訳の区分を変更しております。(27ページ参照)
2024/3期の数値については、変更後の区分により記載しております。

	2024/3期	2025/3期	対前年同期		摘要 (+)増加要因、(-)減少要因
	1Q	1Q	(増減額)	(率)	
営業収益	19,789	18,977	△ 811	△ 4.1%	造園請負工事の減少により減収
開発・賃貸業	10,895	11,030	+135	+ 1.2%	(+)としまえん跡地土地賃貸開始 (2023年6月より)に伴う賃料 収入の増加
投資運用業	544	708	+163	+ 30.1%	(+)分譲地販売の増加
マネジメント業	1,980	1,986	+5	+ 0.3%	
その他	6,368	5,252	△ 1,116	△ 17.5%	(-)造園請負工事の減少

(金額単位:百万円)

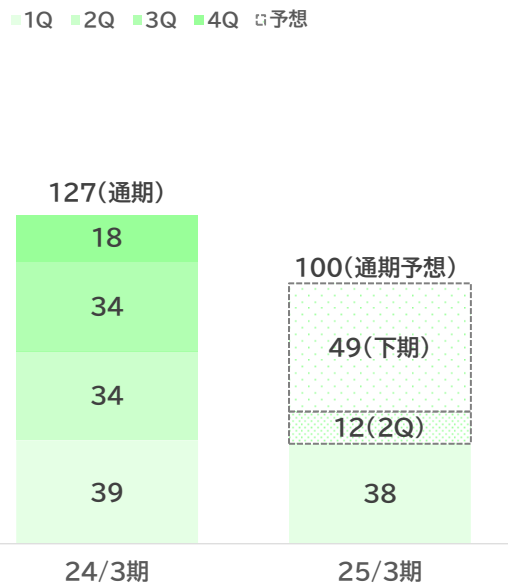
	2024/3期	2025/3期	対前年同期		摘要 (+)増加要因、(-)減少要因
	1Q	1Q	(増減額)	(率)	
営業利益	3,939	3,849	△ 90	△ 2.3%	減収により減益
開発・賃貸業	5,105	5,049	△ 56	△ 1.1%	(-)計上方法変更による人件費の増加 (販売費・一般管理費 → 開発・賃貸業)
投資運用業	160	171	+10	+ 6.4%	
マネジメント業	179	168	△ 11	△ 6.3%	
その他	779	724	△ 54	△ 7.0%	
販売費・一般管理費	△ 2,286	△ 2,264	+22	-	
償却前営業利益	6,826	6,691	△ 134	△ 2.0%	

四半期推移 営業収益

(金額単位:億円)



営業利益



建物賃貸物件の期末貸付面積

(面積:千㎡)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	対前年同期 (増減面積)
	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q	
商業施設	246	246	244	253	256	+ 3
オフィス・住宅	206	204	196	215	204	△ 10

(注)土地の賃貸は含んでおりません。

建物賃貸物件の期末空室率

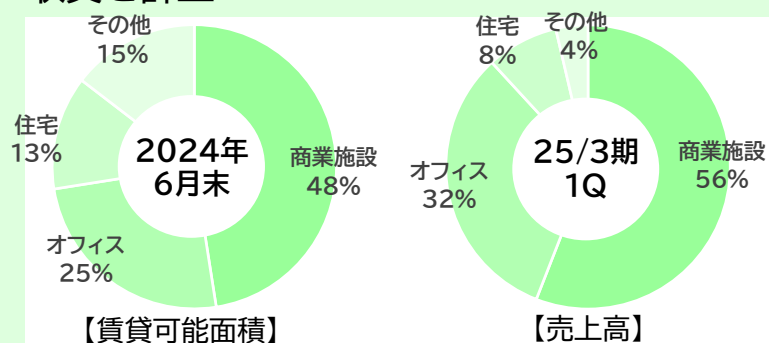
	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	対前年同期
	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q	
商業施設	1.4%	2.9%	2.1%	3.0%	1.9%	△ 1.2pt
オフィス・住宅	3.0%	3.8%	7.1%*	2.9%	1.5%	△ 1.4pt

* オフィステナントの一部退去による上昇

不動産事業 収益構成要素

開発・賃貸業

不動産賃貸や、都市開発・リゾート開発に係る収支を計上



(主な施設の賃貸可能面積(総計549千㎡))

■ 商業施設

- ・ 軽井沢プリンス・ショッピングプラザ 46千㎡
- ・ グランエミオ所沢 17千㎡
- ・ ビッグボックス高田馬場 15千㎡
- ・ 新横浜プリンスペペ 13千㎡

■ オフィス

- ・ 紀尾井タワー 80千㎡
- ・ ダイアゲート池袋 30千㎡

■ 住宅

- ・ 品川レジデンス 21千㎡
- ・ 紀尾井レジデンス 13千㎡

投資運用業

流動化した際の売却益や西武鉄道沿線・リゾート土地の分譲に係る収支を計上

投資運用業での目標リターン
IRR 5-10%

(不動産流動化を検討する主な施設)

- ・ 東京ガーデンテラス紀尾井町
 - ・ ダイアゲート池袋
 - ・ 西麻布レジデンス
 - ・ 西武鉄道沿線レジデンスや既存ホテル
 - ・ エミテラス所沢や都心・リゾートの開発物件
- ※当社グループ保有全物件を聖域なく検討対象とする

(上記の他収益に含む内容)

- ・ 西武鉄道沿線やリゾート土地の分譲業
- ・ 霊園業

マネジメント業

第三者オーナーまたは当社保有物件のアセットマネジメントやプロパティマネジメント、ビルマネジメント等に係る収支を計上

(収益に含む内容)

- ・ 西武SCCATによるビルマネジメント業
- ・ 資産運用会社(設立予定)によるアセットマネジメント業
- ・ 不動産運営会社(設立予定)によるプロパティマネジメント・コンストラクションマネジメント業

その他

不動産に関連するその他の事業の収支を計上

(収益に含む内容)

- ・ 西武造園等による造園業
- ・ その他、保険やパーキング 等

高輪・品川、芝公園、西武新宿・高田馬場など
東京都心の大規模再開発パイプライン

圧倒的な差別化の源泉

軽井沢、箱根、富良野など日本を代表する
リゾート地におけるパイプライン

ホテル・レジジャー事業 概況

(注)2025/3期より報告セグメントを変更しております。(27ページ参照)
2024/3期の数値については、変更後の区分により記載しております。

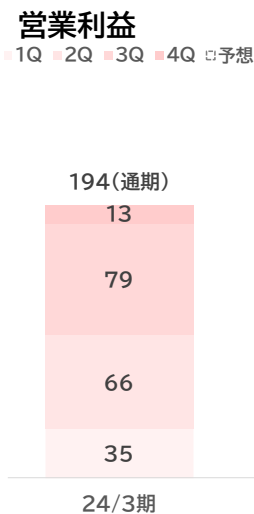
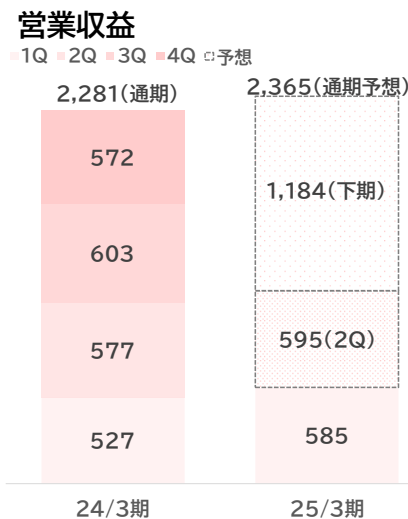
※ 海外ホテル業の第1四半期会計期間は主として1月～3月
(金額単位:百万円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	摘要 (+)増加要因、(-)減少要因
営業収益	52,754	58,533	+5,778 + 11.0%	国内外ホテル業における売上の増加により増収
国内ホテル業 (保有・リース)	31,295	36,106	+4,810 + 15.4%	(+)利用客の増加、ADRの上昇
国内ホテル業 (MC・FC)	2,620	2,795	+175 + 6.7%	
海外ホテル業 (保有・リース)※	9,115	9,854	+738 + 8.1%	(+)利用客の増加、ADRの上昇 (+)為替影響
海外ホテル業 (MC・FC)※	113	135	+21 + 19.1%	
スポーツ業 (保有・リース)	3,108	3,292	+183 + 5.9%	
スポーツ業 (MC・FC)	501	542	+41 + 8.3%	
その他	5,999	5,806	△ 193 △ 3.2%	

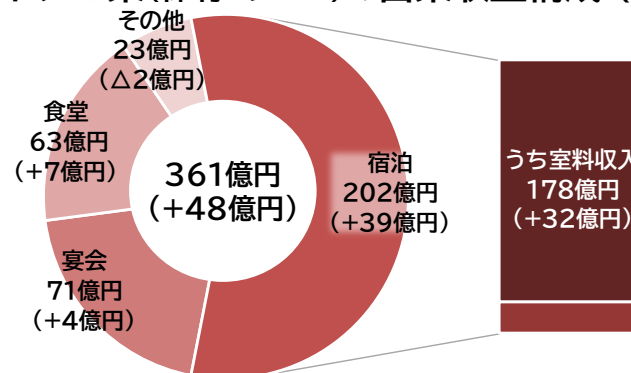
	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	摘要 (+)増加要因、(-)減少要因
営業利益	3,534	7,055	+3,520 + 99.6%	人件費等の費用の増加があるも、増収により増益
国内ホテル業 (保有・リース)	5,691	8,621	+2,930 + 51.5%	(+)営業収益の増加 (-)人件費の増加
国内ホテル業 (MC・FC)	162	203	+40 + 24.7%	
海外ホテル業 (保有・リース)※	967	1,091	+124 + 12.9%	(+)営業収益の増加 (-)人件費の増加
海外ホテル業 (MC・FC)※	108	116	+8 + 7.8%	
スポーツ業 (保有・リース)	378	435	+56 + 14.9%	
スポーツ業 (MC・FC)	0	13	+13 -	
その他	316	692	+375 + 118.8%	(+)広告宣伝費、減価償却費の減少
販売費・一般管理費	△ 4,090	△ 4,118	△ 28 -	

償却前営業利益	7,446	10,713	+3,266 + 43.9%
---------	-------	--------	-------------------

四半期推移 (金額単位:億円)



国内ホテル業(保有・リース)の営業収益構成 (2025/3期 1Q)



ホテル・レジヤ事業 国内ホテル業の宿泊指標

(RevPAR・平均販売室料:円)

		2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	2023/3期 1Q	対前年同期	2024/3期 1Q	対前年同期	2025/3期 1Q	対前年同期
国内ホテル業	RevPAR	657	2,661	+305.0%	5,382	+102.2%	11,989	+122.8%	14,639	+22.1%
	平均販売室料	15,226	12,941	△ 15.0%	13,858	+7.1%	18,918	+36.5%	20,871	+10.3%
	客室稼働率	4.3%	20.6%	+16.3pt	38.8%	+18.3pt	63.4%	+24.5pt	70.1%	+6.8pt
保有・リース	RevPAR	655	2,660	+305.8%	5,506	+107.0%	12,634	+129.5%	15,404	+21.9%
	平均販売室料	15,165	13,037	△ 14.0%	13,673	+4.9%	19,256	+40.8%	21,065	+9.4%
	客室稼働率	4.3%	20.4%	+16.1pt	40.3%	+19.9pt	65.6%	+25.3pt	73.1%	+7.5pt
	販売可能客室数(万室)	139	139	△ 0.2%	145	+4.5%	115	△ 20.8%	115	+0.3%
MC・FC	RevPAR	1,230	2,704	+119.8%	2,331	△ 13.8%	10,321	+342.7%	12,765	+23.7%
	平均販売室料	48,852	11,053	△ 77.4%	65,070	+488.7%	17,922	△ 72.5%	20,319	+13.4%
	客室稼働率	2.5%	24.5%	+21.9pt	3.6%	△ 20.9pt	57.6%	+54.0pt	62.8%	+5.2pt

(注1) 各区分に含まれるホテル名称を34ページに記載しております。

(注2) RevPARおよび客室稼働率の算出に用いる客室総数(販売可能客室数)には、行政機関へのホテル客室全室貸出に伴い一時営業休止していたホテルおよび需要動向等を踏まえて臨時休業したホテルの客室を含んでおります。

ホテル・レジャー事業 インバウンドの状況

国内ホテル業(全体)

(人員単位:千人)

		2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	2023/3期 1Q	対前年同期	2024/3期 1Q	対前年同期	2025/3期 1Q	対前年同期
宿泊客数	邦人客	65	388	+ 496.0%	776	+ 100.1%	760	△ 2.1%	751	△ 1.2%
	外国人客	0	1	+ 430.1%	7	+ 252.1%	304	+ 4,252.4%	414	+ 36.1%
	計	65	390	+ 495.6%	783	+ 100.8%	1,065	+ 36.0%	1,166	+ 9.5%
	外国人客比率	0.6%	0.5%	△ 0.1pt	0.9%	+ 0.4pt	28.6%	+ 27.7pt	35.6%	+ 7.0pt

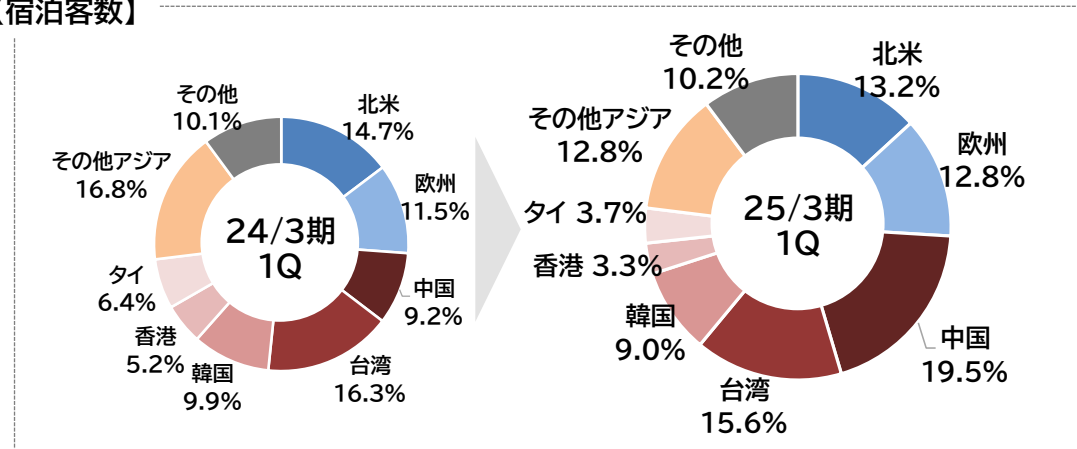
参考: 国内ホテル業(保有・リース)

(人員単位:千人、金額単位:百万円)

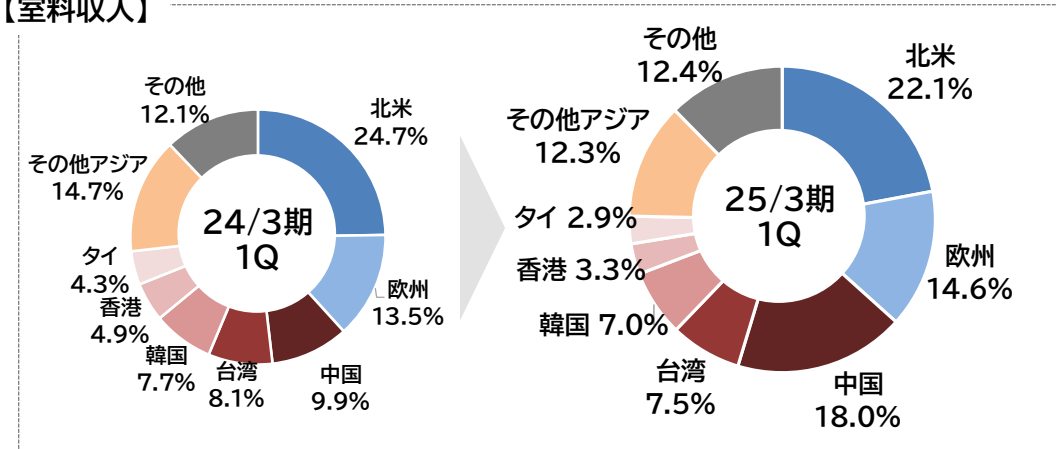
		2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	2023/3期 1Q	対前年同期	2024/3期 1Q	対前年同期	2025/3期 1Q	対前年同期
宿泊客数	邦人客	64	371	+ 472.8%	772	+ 107.8%	529	△ 31.4%	516	△ 2.6%
	外国人客	0	0	+ 77.9%	6	+ 946.3%	239	+ 3,334.0%	304	+ 27.1%
	計	65	372	+ 470.5%	779	+ 109.3%	769	△ 1.3%	820	+ 6.7%
	外国人客比率	0.6%	0.2%	△ 0.4pt	0.9%	+ 0.7pt	31.1%	+ 30.3pt	37.1%	+ 6.0pt
室料収入	外国人客	53	26	△ 50.7%	343	+ 1,202.1%	6,588	+ 1,820.8%	9,428	+ 43.1%
	外国人客比率	5.8%	0.7%	△ 5.1pt	4.3%	+ 3.6pt	45.2%	+ 40.9pt	52.8%	+ 7.7pt

参考: 国内ホテル業(保有・リース) 外国人宿泊客数および室料収入の構成比

【宿泊客数】



【室料収入】



ホテル・レジャー事業 海外ホテル業(保有・リース)の営業指標

※ 1Qは1月～3月の実績

■ ハワイ

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	2023/3期 1Q	対前年同期	2024/3期 1Q	対前年同期	2025/3期 1Q	対前年同期
RevPAR(円)	27,515	16,745	△ 39.1%	38,883	+ 132.2%	46,130	+ 18.6%	49,394	+ 7.1%
RevPAR(米ドル)	259.57	155.04	△ 40.3%	360.03	+ 132.2%	354.85	△ 1.4%	365.88	+ 3.1%
平均販売室料(円)	38,053	34,300	△ 9.9%	47,319	+ 38.0%	56,140	+ 18.6%	59,928	+ 6.7%
平均販売室料(米ドル)	358.99	317.60	△ 11.5%	438.14	+ 38.0%	431.85	△ 1.4%	443.91	+ 2.8%
客室稼働率	72.3%	48.8%	△ 23.5pt	82.2%	+ 33.4pt	82.2%	△ 0.0pt	82.4%	+ 0.3pt

■ The Prince Akatoki London

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	2023/3期 1Q	対前年同期	2024/3期 1Q	対前年同期	2025/3期 1Q	対前年同期
RevPAR(円)	18,019	—	△ 100.0%	12,733	—	32,435	+ 154.7%	30,178	△ 7.0%
RevPAR(英ポンド)	133.49	—	△ 100.0%	90.67	—	193.71	+ 113.7%	165.96	△ 14.3%
平均販売室料(円)	30,034	—	△ 100.0%	41,233	—	48,771	+ 18.3%	51,589	+ 5.8%
平均販売室料(英ポンド)	222.50	—	△ 100.0%	293.60	—	291.28	△ 0.8%	283.71	△ 2.6%
客室稼働率	60.0%	—	△ 60.0pt	30.9%	+ 30.9pt	66.5%	+ 35.6pt	58.5%	△ 8.0pt

(注)2022/3期1Qは営業休止

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位:百万円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	摘要 (+)増加要因、(-)減少要因
営業収益	36,349	38,424	+2,074 + 5.7%	鉄道やバスの運輸収入の増加による増収
鉄道業	24,743	26,001	+1,257 + 5.1%	(+)鉄道の運輸収入の増加
バス業	5,884	6,297	+413 + 7.0%	(+)バス運輸収入の増加
沿線生活サービス業	4,323	4,684	+361 + 8.4%	(+)ポートレース多摩川の賃料収入の増加 (-)グループ内における広告事業の移管 (都市交通・沿線事業→その他)による減少(利益影響僅少)
スポーツ業	472	502	+29 + 6.3%	
その他	925	938	+12 + 1.4%	

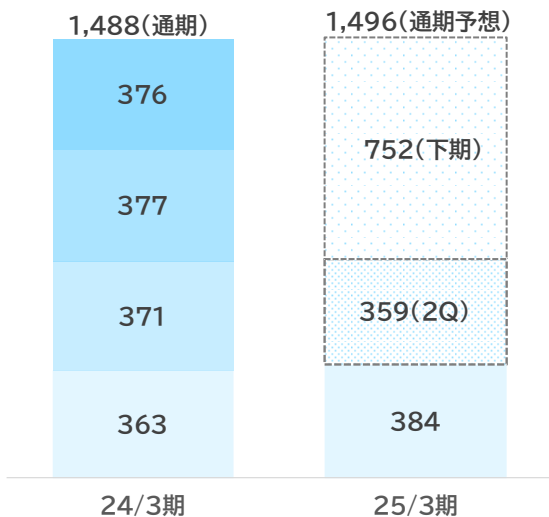
	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	摘要 (+)増加要因、(-)減少要因
営業利益	5,355	6,303	+948 + 17.7%	人件費、減価償却費等費用の増加があるも、増収により増益
鉄道業	7,725	8,406	+681 + 8.8%	(+)営業収益の増加 (-)減価償却費、修繕費、人件費の増加
バス業	680	692	+11 + 1.7%	(+)営業収益の増加 (-)人件費の増加
沿線生活サービス業	834	1,289	+454 + 54.4%	(+)営業収益の増加
スポーツ業	△ 67	△ 46	+20 -	
その他	91	72	△ 18 △ 20.2%	

販売費・一般管理費	△ 3,909	△ 4,110	△ 201 -	
償却前営業利益	10,384	11,672	+1,287 + 12.4%	

四半期推移 (金額単位:億円)

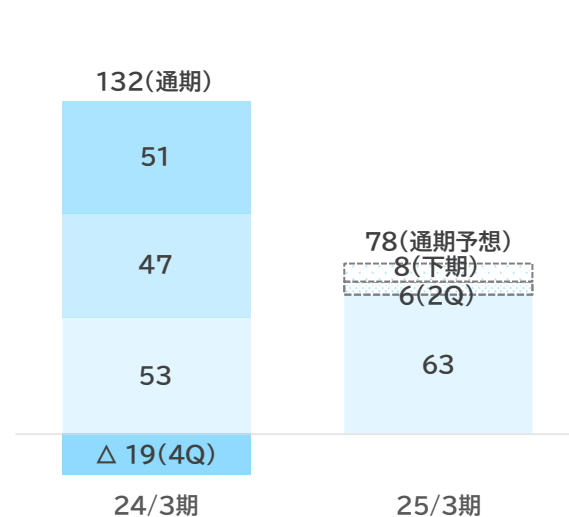
営業収益

■1Q ■2Q ■3Q ■4Q □予想



営業利益

■1Q ■2Q ■3Q ■4Q □予想



西武鉄道 鉄道業の主な費用

(金額単位:億円)

	2025/3期 1Q	対前年同期 増減額
人件費	67	+1
修繕費	13	+1
動力費	19	+0
減価償却費	43	+2
固定資産除却費	0	△0
その他	26	+1

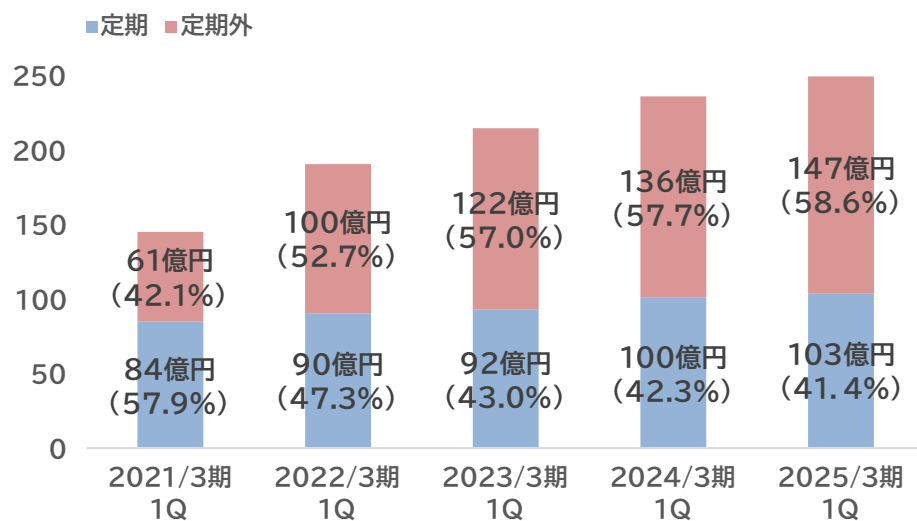
都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入(西武鉄道株式会社)

(人員単位:千人、金額単位:百万円)

		2021/3期	2022/3期	対前年同期	2023/3期	対前年同期	2024/3期	対前年同期	2025/3期	対前年同期
		1Q	1Q		1Q		1Q		1Q	
輸送人員	定期	70,766	80,457	+13.7%	87,664	+9.0%	91,272	+4.1%	93,034	+1.9%
	定期外	29,214	46,533	+59.3%	55,713	+19.7%	59,102	+6.1%	62,790	+6.2%
	計	99,981	126,991	+27.0%	143,377	+12.9%	150,375	+4.9%	155,824	+3.6%
旅客運輸収入	定期	8,444	9,008	+6.7%	9,222	+2.4%	10,036	+8.8%	10,366	+3.3%
	定期外	6,144	10,040	+63.4%	12,228	+21.8%	13,684	+11.9%	14,701	+7.4%
	計	14,589	19,049	+30.6%	21,451	+12.6%	23,720	+10.6%	25,068	+5.7%

旅客運輸収入の推移 ※()内は構成比



	2024/3期	2025/3期
	1Q	1Q
営業日数(日)	91	91
営業キロ(キロ)	176.6	176.6
客車走行キロ(千キロ)	42,446	42,721
輸送人員(千人)	150,375	155,824
旅客運輸収入(百万円)	23,720	25,068
運輸雑収入(百万円)	866	796
収入合計(百万円)	24,587	25,864
一日平均収入(百万円)	260	275
乗車効率	36.4%	37.3%

(注1) 乗車効率は 延人キロ/(客車走行キロ×平均定員)×100により算出しております。
 (注2) 運輸雑収は鉄道業以外の収入を含んでおります。

その他 概況

(注)2025/3期より報告セグメントを変更しております。(27ページ参照)
2024/3期の数値については、変更後の区分により記載しております。

(金額単位:百万円)

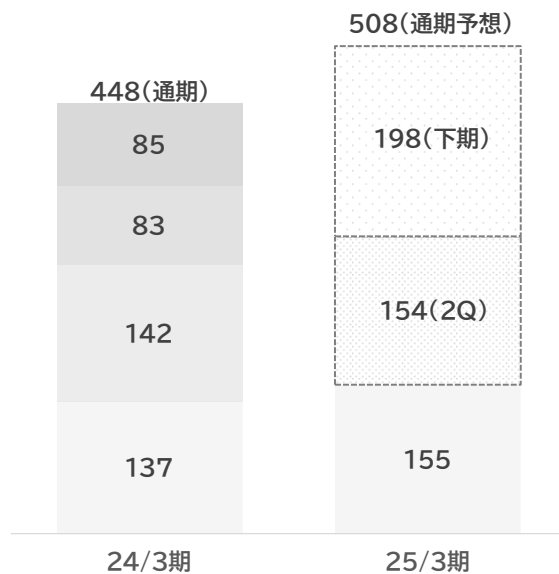
	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	摘要 (+)増加要因、(-)減少要因
営業収益	13,701	15,568	+1,867 + 13.6%	グループ内における広告事業の移管(都市交通・沿線事業→その他)、プロ野球観客動員数の増加、伊豆箱根事業および近江事業におけるタクシー、バス、鉄道利用の増加等により増収

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	摘要 (+)増加要因、(-)減少要因
営業利益	1,607	2,638	+1,030 + 64.1%	増収により増益
償却前営業利益	2,631	3,716	+1,085 + 41.2%	

四半期推移 (金額単位:億円)

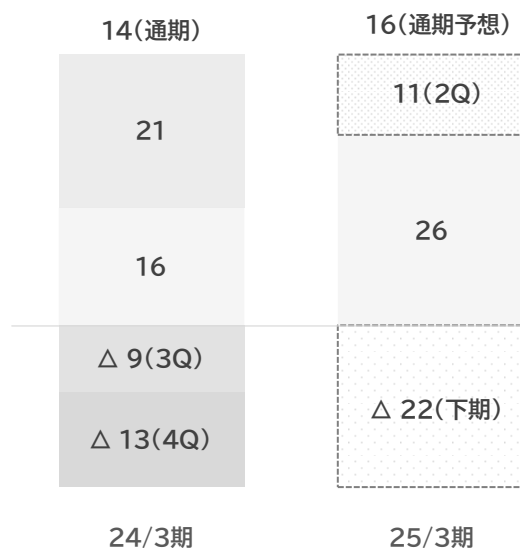
営業収益

■1Q ■2Q ■3Q ■4Q □予想

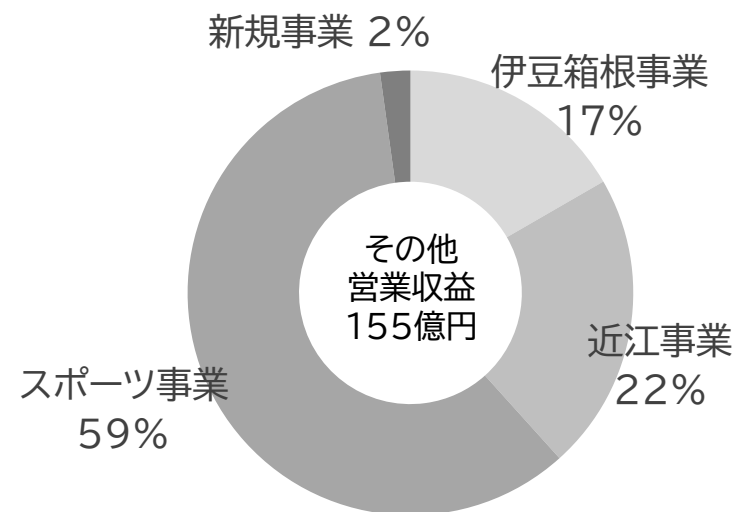


営業利益

■1Q ■2Q ■3Q ■4Q □予想



その他 営業収益構成比(2025年3月期1Q)



1	決算サマリー、長期戦略・中期経営計画の進捗状況	P.3
2	経営成績の詳細	P.8
3	業績予想	P.21
4	補足資料	P.27

連結業績予想【2024年5月公表予想より変更なし】

(金額単位:億円)

		2024/3期	2025/3期 (予想)	対前期	2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計(予想)	対前年同期
PL	営業収益	4,775	4,890	+114	2,388	2,470	+81
	営業利益	477	400	△77	318	260	△58
	償却前営業利益	1,018	970	△48	581	540	△41
	経常利益	430	350	△80	291	230	△61
	親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	269	260	△9	274	170	△104

※ 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

(金額単位:億円)

		2024/3期 期末	2025/3期 期末(予想)	対前期
BS/ 設備 投資	総資産	16,350	16,930	+579
	負債	12,028	12,450	+421
	純資産	4,321	4,480	+158
	自己資本	4,267	4,430	+162
	ネット有利子負債	7,306	7,880	+573
	設備投資	613	1,330	+716

		西武ROIC	ROE	ROA	自己資本比率	ネット有利子負債 /EBITDA倍率
経営 指標	2024/3期	2.5%	6.8%	1.7%	26.1%	7.2倍
	2025/3期(予想)	2.1%	5.9%	1.6%	26.2%	8.1倍

セグメント別業績予想（営業収益、営業利益）【2024年5月公表予想より変更なし】

(金額単位:億円)

営業収益

	2024/3期	2025/3期 (予想)	対前期	2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計(予想)	対前年同期
不動産事業	790	791	+0	395	380	△15
ホテル・レジャー事業	2,281	2,365	+84	1,104	1,181	+76
都市交通・沿線事業	1,488	1,496	+7	734	744	+9
その他	448	508	+59	279	310	+30
調整額	△232	△271	△38	△126	△145	△19
連結数値	4,775	4,890	+114	2,388	2,470	+81

(金額単位:億円)

営業利益

	2024/3期	2025/3期 (予想)	対前期	2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計(予想)	対前年同期
不動産事業	127	100	△26	73	51	△22
ホテル・レジャー事業	194	205	+11	101	106	+5
都市交通・沿線事業	132	78	△54	100	70	△30
その他	14	16	+2	37	38	+0
調整額	7	△2	△10	4	△7	△11
連結数値	477	400	△77	318	260	△58

セグメント別業績予想（償却前営業利益、設備投資）【2024年5月公表予想より変更なし】

(金額単位:億円)

償却前営業利益

	2024/3期	2025/3期 (予想)	対前期	2024/3期 2Q累計	2025/3期 2Q累計(予想)	対前年同期
不動産事業	242	219	△23	131	107	△23
ホテル・レジャー事業	350	361	+11	179	181	+2
都市交通・沿線事業	346	310	△35	202	180	△22
その他	56	62	+5	58	60	+2
調整額	22	15	△6	9	9	+0
連結数値	1,018	970	△48	581	540	△41

(金額単位:億円)

設備投資

	2024/3期	2025/3期 (予想)	対前期
不動産事業	119	371	+252
ホテル・レジャー事業	145	471	+326
都市交通・沿線事業	320	435	+114
その他	22	36	+14
調整額	5	15	+9
連結数値	613	1,330	+716

業績予想の前提（国内ホテル業）

■営業指標

(RevPAR・平均販売室料:円)

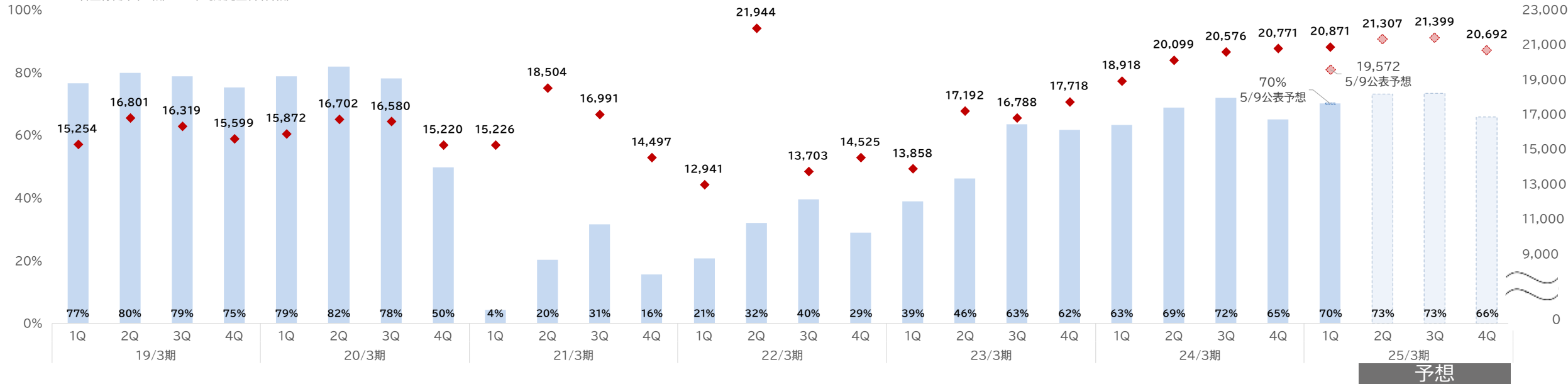
	2024/3期	2025/3期 (予想)	対前年同期
RevPAR	13,548	14,655	+8.2%
うち、保有・リース	14,327	15,390	+7.4%
平均販売室料	20,126	20,760	+3.1%
うち、保有・リース	20,454	21,326	+4.3%
客室稼働率	67.3%	70.6%	+3.3pt
うち、保有・リース	70.0%	72.2%	+2.1pt

■足元の宿泊予約状況

- ✓ 2024年7月(速報値)のRevPARは前年同期の117%、ADRは109%、稼働率は前年同期比+5ptの71%
- ✓ 2024年8月、9月のRevPARは前年同期の110%程度で推移(ADRは107%程度) ※2024年7月23日時点
- ✓ インバウンドの予約状況は、室料収入ベースで7月は前年同期の140%程度の見込み、8月、9月は前年同期の120%程度で推移 ※2024年7月23日時点

■平均販売室料と客室稼働率の推移 (平均販売室料:円)

■客室稼働率(左軸) ◆平均販売室料(右軸)



業績予想の前提（鉄道業）

■輸送人員・旅客運輸収入予想

(人員単位:千人、金額単位:百万円)

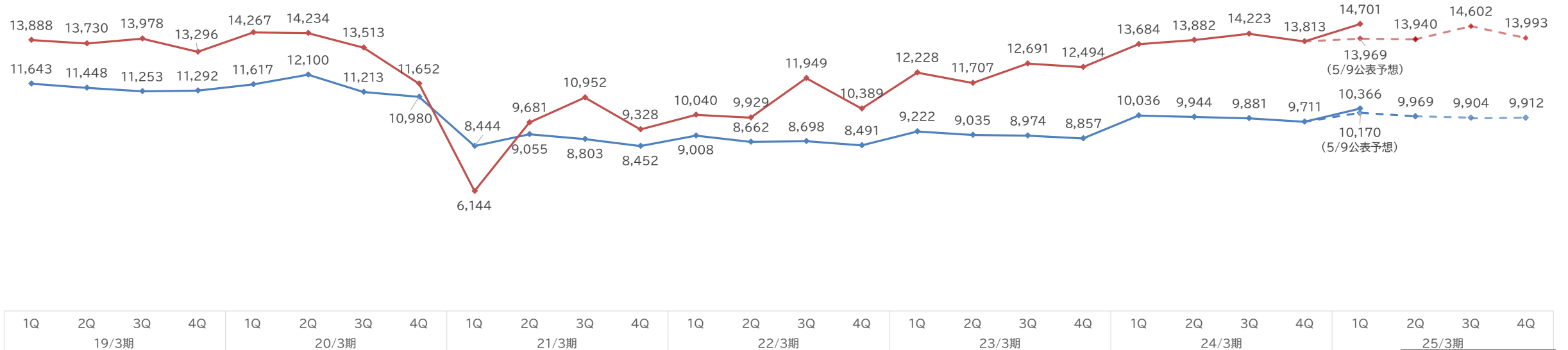
		2024/3期	2025/3期 (予想)	対前年同期
輸送人員	定期	348,589	350,841	+0.6%
	定期外	239,127	241,608	+1.0%
	計	587,716	592,449	+0.8%
旅客運輸収入	定期	39,574	39,957	+1.0%
	定期外	55,604	56,506	+1.6%
	計	95,178	96,464	+1.4%

■足元の改札通過人員(前年同期比)

2024年	4月	5月	6月	7月1日~28日
定期	+4.0%	+4.3%	△ 2.2%	+2.7%
定期外	+5.4%	+4.8%	+6.3%	+3.2%
計	+4.7%	+4.6%	+1.7%	+3.0%

■旅客運輸収入の推移 (金額単位:百万円)

— 定期 — 定期外



1	決算サマリー、長期戦略・中期経営計画の進捗状況	P.3
2	経営成績の詳細	P.8
3	業績予想	P.21
4	補足資料	P.27

報告セグメントの変更

- 不動産回転型ビジネスの開始に伴い、不動産事業の明細区分を変更
- 2024年4月1日より連結子会社化した株式会社DAY ONEとともにペット事業をリモデルするため、株式会社西武ペットケアのセグメントをその他(新規事業)へ変更

(単位:億円)

	変更前(FY2023 1Q)			変更後(FY2023 1Q)	
営業収益	ホテル・レジャー事業	530	西武ペットケア 営業収益 2億円	ホテル・レジャー事業	527
	不動産事業	197		不動産事業	197
	不動産賃貸業	108		開発・賃貸業(新設)	108
	その他	89		投資運用業(新設)	5
	その他	134		マネジメント業(新設)	19
				その他(新設)	63
			その他	137	
営業利益	ホテル・レジャー事業	35	西武ペットケア 営業利益 $\Delta 0$ 億円	ホテル・レジャー事業	35
	その他	16		その他	16
償却前 営業利益	ホテル・レジャー事業	74	西武ペットケア 償却前営業利益 $\Delta 0$ 億円	ホテル・レジャー事業	74
	その他	26		その他	26

高輪・品川エリア

高輪・品川エリアの現状



- ◆ザ・プリンス さくらタワー東京
- ◆グランドプリンスホテル高輪
- ◆グランドプリンスホテル新高輪

客室数(3ホテル合計):約1,600室
宴会場数:大小合わせ約60宴会場

敷地面積:約83,000㎡
容積率:指定容積率300%
使用容積率218%

- ◆品川プリンスホテル
客室数:約3,500室
宴会場数:大小合わせ約40宴会場

- ◆品川プリンス・レジデンス
賃貸マンション:約260戸

敷地面積:約45,000㎡
容積率:指定容積率458%
使用容積率458%

高輪エリア

2022年1月 品川駅西口地区まちづくり指針(高輪三丁目地区)より
世界の人々を迎え入れる品格ある迎賓都市・開かれたまちへの転換

国内外への広域交通アクセスに優れた品川駅至近の立地において、日本最大級の集積を誇るホテル・MICE機能の更新を図りながら、都心での貴重な緑や歴史的な資源を生かしつつ、環境にも配慮した先進的なオフィス・商業・住宅等の都市機能を導入し、日本の新たな玄関口となる複合市街地の形成を目指す。

※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。今後のプラン検討によって変更する場合があります。

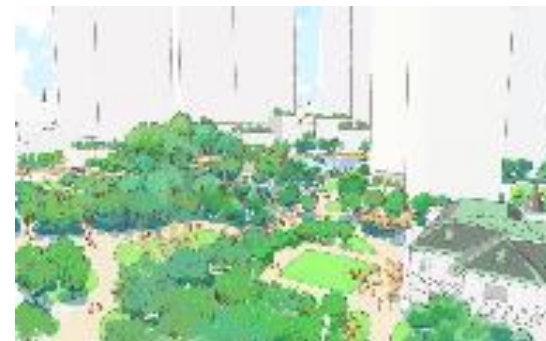
高輪エリアイメージ



(環状4号・国道15号交差点より柘榴坂方面を望む)

■導入機能のイメージ

- ・ホテル
- ・MICE
- ・オフィス
- ・商業
- ・住宅 など



- ◆ 2022年11月 品川駅西口地区地区計画 都市計画変更
品川駅西口地区においては、品川駅とまちの連携を強化するバリアフリーの歩行者ネットワークや、豊かな自然とMICE等の都市機能が高度に融合した複合交流拠点等の整備を目指していく。

- ◆ 2023年6月 品川駅西口地区における土地区画整理事業の認可
独立行政法人都市再生機構が施行者として進める「品川駅西口土地区画整理事業」が2023年6月1日付で事業認可。

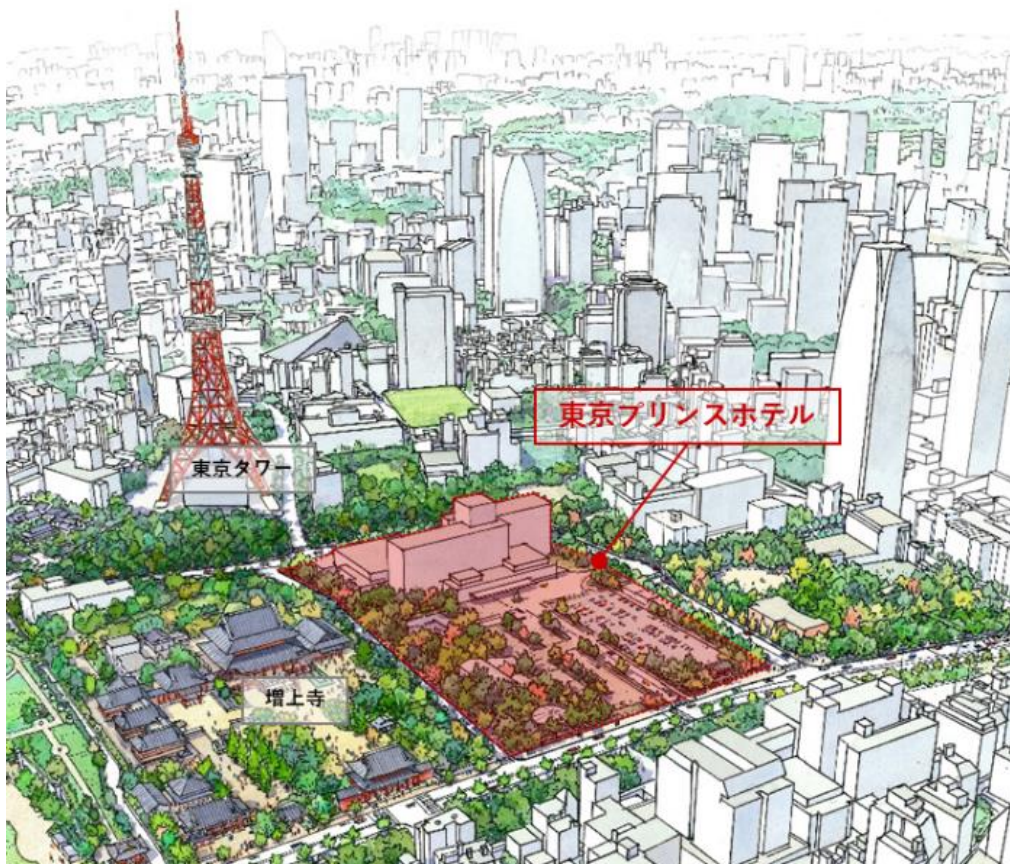
段階的なまちづくりにより既存事業の収益減をミニマイズしながら
エリア最大級の地権者としてまちづくりを推進。

芝公園エリア

芝公園の現状



土地面積: 約50,000㎡
 容積率: 指定容積率200%、
 使用容積率111%
 ホテル(約460室)、
 宴会場(24会場、計5,294㎡)



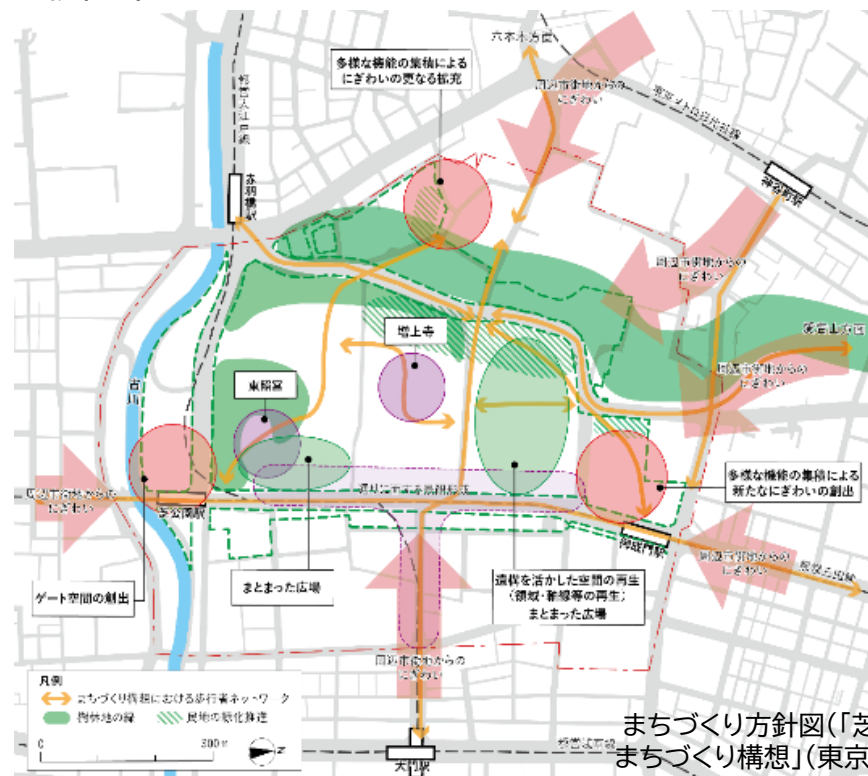
Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

芝公園を核としたまちづくり構想

2020年東京都

2020年2月芝公園を核としたまちづくり構想(東京都)より
 「江戸の杜」に集う江戸東京文化の体感と国際的な交流の促進

現在、芝公園を核としたまちづくり構想に基づき、ホテルの機能更新を図りつつ、歴史・文化資源の活用、緑の充実を図るための緑地整備等を意識したまちづくりを検討中



芝公園の江戸草創期の資産を顕在化するとともに、歴史的資源を活用し国際交流を促進するなど、都心に息づく江戸東京のレガシーを体感

西武鉄道沿線エリア

■ 広域集客型施設「エミテラス所沢」

楽しく快適で何度でも訪れたい「エミテラス所沢」が所沢の中心として発展を目指し、「ベッドタウン」からほほえみあふれる居心地の良い「リビングタウン」への進化を加速させ、所沢のまちづくりを推進

【計画概要】

開発事業者	株式会社西武リアルティソリューションズ、住友商事株式会社
着工	2022年11月1日
竣工日	2024年7月31日
開業予定	2024年9月24日
事業費	約295億円
面積	敷地面積:約34,000㎡、延床面積:約129,000㎡
階数	地上7階(商業フロア4層)
店舗数	142店舗
備考	駐車場台数:約1,700台、駐輪場台数:約1,700台

■ 西武新宿

2018年3月に東京都・新宿区が「新宿の拠点再整備方針」を公表

「当社資産の魅力向上を図るエリア」として、エリア全体の再整備に対する方針を踏まえて適切な施設を計画していく。

■ 高田馬場

2022年7月に新宿区が「高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針」を策定

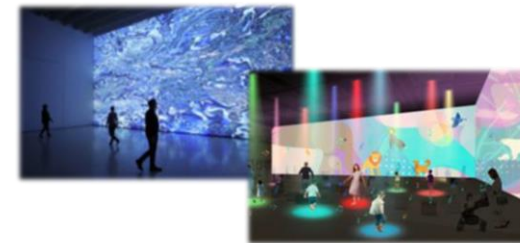
「学生の街のイメージを残しつつ、新しい商業・ビジネス地区としての再生を図るエリア」と位置付け、当方針を踏まえてまちの課題解決を図りつつ開発計画を検討。

サステナビリティへの取り組み



太陽光パネルを設置し年間約18万kWhを発電。また、FIT 非化石証書活用により施設の使用電力の100%をCO₂排出実質ゼロで運用
「ZEB Oriented 認証(物販)」および「CASBEE A ランク評価」を取得

DX・AIを活用した最新鋭のシステムを導入



本格的なイベントが開催可能な「センターコート(仮称)」
513インチ大型ビジョンを常設

快適にお過ごしいただける居心地の良い「まちの広場」



屋内外がシームレスにつながる広場「そらくもひろば」と7軒の個性豊かなレストランが並ぶ「そらくもダイニング」

既存施設との連携によるシナジーの創出

「グランエミオ所沢」と「エミテラス所沢」が連携する共通アプリ「エミテラス所沢&グランエミオ所沢アプリ」を提供



リゾートエリア

軽井沢



- 長野県軽井沢町「千ヶ滝地区」において約22haの敷地を活用し、大規模複合開発を計画。2024年4月、野村不動産株式会社と共同開発に向けた基本協定書を締結
- 晴山ゴルフ場において、ゴルフ場の概念を超えた軽井沢の“開かれた社交場”を目指し複数年をかけて大規模リニューアルを実施。第1期として2024年7月27日リニューアルオープン



<軽井沢>千ヶ滝地区 開発予定地

箱根



- 坂 茂氏設計のPVCの開発
- 2026年度開業目標

富良野



- ホテルコンドミニアム等を開発

日光



- 旧日光プリンスホテルの開発



<軽井沢>晴山ゴルフ場 クラブハウスデザイン(坂 茂氏設計)

ホテル・レジャー事業 国内ホテル業の営業指標（エリア別）

(RevPAR・平均販売室料:円)

		2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	2023/3期 1Q	対前年同期	2024/3期 1Q	対前年同期	2025/3期 1Q	対前年同期
首都圏・中日本	RevPAR	786	2,575	+227.5%	4,884	+89.7%	13,767	+181.9%	17,761	+29.0%
	平均販売室料	16,037	12,355	△ 23.0%	13,564	+9.8%	20,532	+51.4%	23,332	+13.6%
	客室稼働率	4.9%	20.8%	+15.9pt	36.0%	+15.2pt	67.1%	+31.0pt	76.1%	+9.1pt
高輪・品川エリア	RevPAR	706	1,719	+143.6%	3,789	+120.4%	12,798	+237.8%	17,043	+33.2%
	平均販売室料	13,075	11,043	△ 15.5%	11,193	+1.4%	19,764	+76.6%	20,671	+4.6%
	客室稼働率	5.4%	15.6%	+10.2pt	33.8%	+18.3pt	64.8%	+30.9pt	82.4%	+17.7pt
東日本	RevPAR	309	2,910	+841.4%	6,163	+111.8%	7,420	+20.4%	8,203	+10.6%
	平均販売室料	12,936	13,797	+6.7%	13,147	△ 4.7%	15,197	+15.6%	15,839	+4.2%
	客室稼働率	2.4%	21.1%	+18.7pt	46.9%	+25.8pt	48.8%	+1.9pt	51.8%	+3.0pt
軽井沢エリア	RevPAR	1,081	8,137	+652.8%	14,532	+78.6%	17,056	+17.4%	18,564	+8.8%
	平均販売室料	17,924	22,711	+26.7%	25,221	+11.1%	29,426	+16.7%	30,864	+4.9%
	客室稼働率	6.0%	35.8%	+29.8pt	57.6%	+21.8pt	58.0%	+0.3pt	60.1%	+2.2pt
西日本	RevPAR	644	2,717	+321.8%	6,583	+142.3%	11,150	+69.4%	11,581	+3.9%
	平均販売室料	12,805	15,327	+19.7%	16,462	+7.4%	16,392	△ 0.4%	16,436	+0.3%
	客室稼働率	5.0%	17.7%	+12.7pt	40.0%	+22.3pt	68.0%	+28.0pt	70.5%	+2.4pt

(注1) 各区分に含まれるホテル名称を34ページに記載しております。

(注2) RevPARおよび客室稼働率の算出に用いる客室総数(販売可能客室数)には、行政機関へのホテル客室全室貸出に伴い一時営業休止していたホテルおよび需要動向等を踏まえて臨時休業したホテルの客室を含んでおります。

ホテル・レジジャー事業 ホテル施設概要

■国内ホテル業

	ホテル数(か所)		客室数(室)		宴会場数(室)		宴会場面積(m ²)	
	2023/6末	2024/6末	2023/6末	2024/6末	2023/6末	2024/6末	2023/6末	2024/6末
国内ホテル業	57	60	19,549	20,402	293	320	72,871	78,372
保有・リース	42	43	13,537	13,665	234	241	50,940	51,665
MC・FC	15	17	6,012	6,737	59	79	21,931	26,707

参考:エリア別(国内ホテル業全体)

	ホテル数(か所)		客室数(室)		宴会場数(室)		宴会場面積(m ²)	
	2023/6末	2024/6末	2023/6末	2024/6末	2023/6末	2024/6末	2023/6末	2024/6末
首都圏・中日本	26	26	10,963	10,928	217	223	47,553	48,095
高輪・品川エリア	4	4	5,138	5,138	103	103	20,322	20,322
東日本	19	19	5,614	5,614	38	38	14,252	14,252
軽井沢エリア	3	3	687	687	11	11	3,670	3,670
西日本	12	15	2,972	3,860	38	59	11,065	16,025

■海外ホテル業

	ホテル数(か所)		客室数(室)		宴会場数(室)		宴会場面積(m ²)	
	2023/3末	2024/3末	2023/3末	2024/3末	2023/3末	2024/3末	2023/3末	2024/3末
海外ホテル業	28	29	4,853	5,063	85	95	12,792	14,277
保有・リース	12	12	1,518	1,518	34	34	5,185	5,185
ハワイ	3	3	1,064	1,064	22	22	4,090	4,090
The Prince Akatoki	1	1	82	82	2	2	115	115
MC・FC	16	17	3,335	3,545	51	61	7,607	9,092

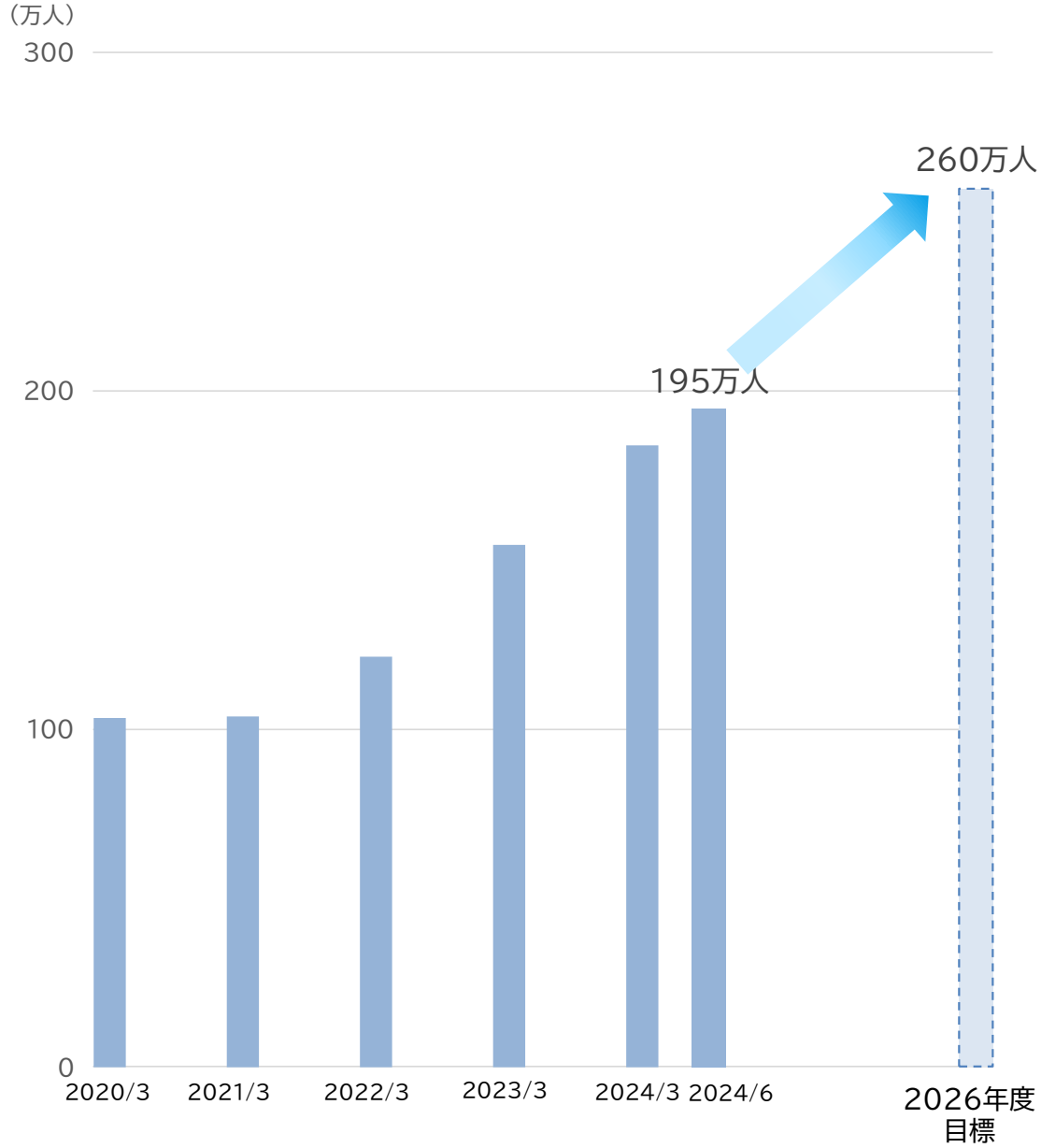
ホテル・レジジャー事業 国内ホテル業に含むホテル一覧

※ 2024年6月30日時点

エリア	保有・リース				MC・FC	
	ホテル名	客室数	ホテル名	客室数	ホテル名	客室数
首都圏・中日本 (高輪・品川エリアを含む ホテルを下線で表示)	ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町	250	大磯プリンスホテル	305	ザ・プリンス パークタワー東京	603
	東京プリンスホテル	462	プリンス スマート イン 恵比寿	82	東京ベイ潮見プリンスホテル	605
	<u>ザ・プリンス さくらタワー東京</u>	288	ザ・プリンス 箱根芦ノ湖	140	下田プリンスホテル	133
	<u>グランドプリンスホテル高輪</u>	388	龍宮殿	24		
	<u>グランドプリンスホテル新高輪</u>	908	箱根湯の花プリンスホテル	60		
	<u>品川プリンスホテル</u>	3,554	箱根仙石原プリンスホテル	100		
	新宿プリンスホテル	561	箱根園コテージ	15		
	サンシャインシティプリンスホテル	1,085	三養荘	29		
	川越プリンスホテル	110	プリンス バケーション クラブ 三養荘	8		
	中国割烹旅館翔水亭	21	川奈ホテル	100		
	新横浜プリンスホテル	875	プリンス スマート イン 熱海	125		
	鎌倉プリンスホテル	97				
東日本 (軽井沢エリアを含む ホテルを下線で表示)	富良野プリンスホテル	112	プリンス バケーション クラブ ヴィラ軽井沢浅間	15	札幌プリンスホテル	587
	新富良野プリンスホテル	407	孺恋プリンスホテル	112	屈斜路プリンスホテル	300
	十和田プリンスホテル	66	志賀高原プリンスホテル	666	釧路プリンスホテル	400
	<u>ザ・プリンス ヴィラ軽井沢</u>	20			函館大沼プリンスホテル	331
	<u>ザ・プリンス 軽井沢</u>	100			雫石プリンスホテル	266
	<u>軽井沢プリンスホテル</u>	567			苗場プリンスホテル	1,216
	軽井沢 浅間プリンスホテル	30			万座プリンスホテル	196
	プリンス バケーション クラブ 軽井沢浅間	48			万座高原ホテル	175
西日本	名古屋プリンスホテル スカイタワー	170	プリンス スマート イン 博多	190	プリンス スマート イン 名古屋栄	245
	びわ湖大津プリンスホテル	529	プリンス スマート イン 那覇	149	ザ・プリンス 京都宝ヶ池	310
	プリンス スマート イン 京都四条大宮	173	プリンス スマート イン 宮崎	163	グランドプリンスホテル広島	509
	プリンス スマート イン 京都三条	137			ザ・ホテル青龍 京都清水	48
	日南海岸 南郷プリンスホテル	84			プリンス スマート イン 大阪淀屋橋	333
	沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん	340			グランドプリンスホテル大阪ベイ	480

非財務KPI・モニタリング指標

SEIBU PRINCE CLUB会員数の推移

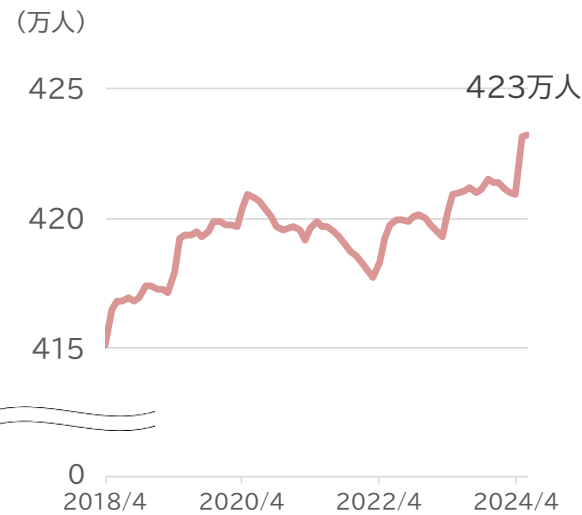


西武鉄道沿線人口の推移

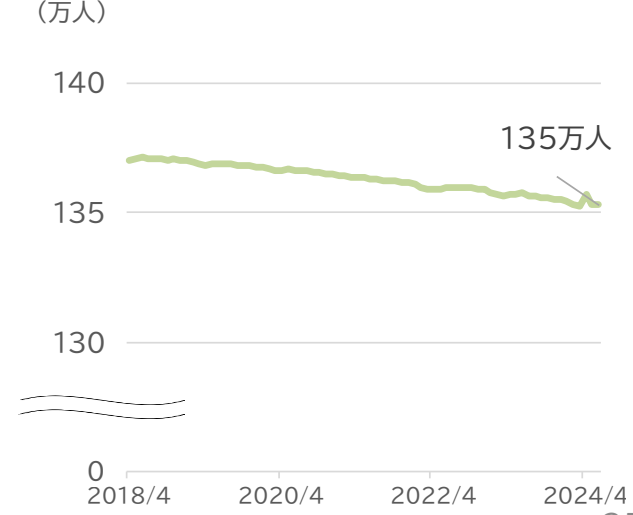
※ 2024年6月時点
出所: 沿線の28自治体の公表資料に基づき当社にて作成



(うち東京都)



(うち埼玉県)



西武ホールディングス Webサイト IR情報

<https://www.seibuholdings.co.jp/ir/>



【主な掲載項目】

- ✓ 経営方針・戦略
- ✓ コーポレートガバナンス
- ✓ IR資料(決算関連資料、IR説明会資料、月次データ、有価証券報告書、統合報告書、ファクトブック等)
- ✓ IRニュース(適時開示資料、ニュースリリース等のIRに関するお知らせ)

ディスクレマー

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び不確実な要因に係る仮定を前提として作成しており、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。